

学校へ行こう

みんなそろって笑顔で撮影。



図書館に行こう

【今月の新刊】
炎 上する君（西加奈子）ヤングアダルトパバ（山本幸久）怪訝山（小池昌代）オール・マイ・ラビング（小路幸也）つやのよる（井上荒野）MUSIC（古川日出男）狼たちの聖戦（落合信彦）綺想宮殺人事件（戸辺拓）幸せになりたい（乃南アサ）スタートライン（小川糸）孤愁ノ春（佐伯泰英）渡りの足跡（梨木香歩）虚擬街頭漂流記（寵物先生）ターシャの喜びの庭（ターシャ・テューダー）人生をいじくり回してはいけない（水木しげる）若山牧水書簡集（日向市・若山牧水記念文学館）何とかなるさ！（山崎直子）八丁堀の火事（佐伯泰英）オーデインの鴉（福田和代）万能鑑定士O（松岡圭祐）不等辺三角形（内田康夫）緑金書房午睡譚（篠田真由美）さびしい女神（仁木英之）すれ違う背中を（乃南アサ）アザラシのひげじまん（椎名誠）いいんだか悪いんだか（林真理子）春告鳥（杉本章子）ボーダー（垣根涼介）奇妙な寶銭（澤田ふじ子）あなた明日の朝お話があります（中場利一）指定席（赤川次郎）

● 開館 午前10時～午後6時
 ● 休館日 毎週月曜日
 ● 問い合わせ先 串間市立図書館 館内 72-11177

6月のテーマ展示
 「スポーツ特集」

今年はいよいよサッカーW杯開催年。それにちなみいろいろなスポーツに関する図書を展示します。写真はアルゼンチン代表のメッシ。彼の少年時代から、北京五輪での金メダル、ワールドカップ優勝を目指すまでを紹介しています。

ア リクイの口のなぞが、ついにとけた！

山本 省三 / 文

動物の体の不思議や進化の秘密を明らかにしていく動物学者の研究を描くシリーズ。オオアリクイは長い舌をどうやって動かしているのか？ オオアリクイの口の仕組みを絵本でわかりやすく解き明かします。

ザ ・万遊記

万城目 学 / 著

北京で五輪を堪能し、ロンドンでサッカーのだいご味を味わい、バルセロナで不遜にもピカソに共感!? 世界を、日本を駆けめぐる万城目学が、あちらこちらでの驚きや感動を綴ったエッセイ集。まか不思議なマキメ・ワールドが全開!!

交流員レポート

第8代国際交流員ジュリアンの日本体験記

ゴールデンウィークが過ぎ
 て連休ボケも直ってきたと思いきや、今度は蒸し暑さにやられています。まだそんなに暑くないのですが前も言ったように、ニュージーランドは気温が30度を越えることがなく、今の串間の気温がニュージーランドの夏です。

ゴールデンウィークは長崎、佐賀と熊本に行ってきました。長距離運転が大好きなので運転中もウキウキしながら長崎まで一気に行きました。

長崎は自分にとってとても印象に残る街でした。中華街、グラバー園やめがね橋など観光スポットも良かったのですが、一番印象に残ったのは街並みでした。最初は方向感覚を無くすほど複雑な街の構造に戸惑いましたが、なれてくると素敵な裏路地やビルの狭間にあるカフェなどいろいろ魅かれるものが見えてきました。夜の長崎も楽しかったです。港を見渡すバーでお酒を飲んでいたら、ジャズバンドが路上ライブを突然始め、一瞬日本にいることを疑いました。

佐賀では市内に泊まったのですが、何もこれと言ったことが

This month's expression
今月の表現

I enjoy ○○.

私は○○が好き

Example: I enjoy traveling.

例: 私は旅行が好き



グラバー園前で。ジュリアンは？



Road Trip (ロケットン)

ありませんでした。鳥栖のアウトレットで買い物をして、居酒屋で飲みながらご飯を食べました。

一つ反省があります。自分は熊本をなめていました、ごめんなさい。長崎や福岡のイメージが強くて熊本を過小評価していました。熊本には半日しかいなかったのですが日本に来て一番おいしいコーヒーをとても素敵なカフェでいただきました。熊本は近いのでまたゆっくり遊びに行きたいです。

地域とともにある学校を

大平を愛し、大平小学校を誇りに思う子どもたちを育てていきます。

伝統芸能を継承。

大平棒おどり

大平地区に古くから伝わる大平棒おどり。天皇陛下が串間をご訪問されたときにも披露したことのある伝統芸能です。大平小学校では、この伝統芸能を継承しています。

3年生以上の児童が、棒おどり保存会の方の指導を受け、練習に励んでいます。月に1回の練習のほか、8月には3回、9月には2回の親子練習を夜実施し、熱心に練習しています。そのような練習を積み重ねて、9月には、いよいよ運動会でお披露目です。児童たちは練習の成果を思い切り披露します。親子2代に渡り踊る家庭もある大平棒おどりは、地域みんなが愛する伝統芸能です。

今回紹介するのは串間市立大平小学校（假野美利校長・全校児童16人・職員8人）です。

豊かな心と表現力を身につける
 大平小学校では、豊かな心と表現力を身につけるために、百人一首を学んでいます。子どもたちは登校したとき、一日一首、声に出して読み上げます。

また、大平小学校では、学期ごとに百人一首大会を開催しています。これはトーナメント方式で行う本格派、学年を問わずすべての児童が対戦します。1年生が6年生に勝つなどの番狂わせもあり、とても盛り上がる大会です。

他校との交流推進
 大東地区にある大平小学校・大東小学校・大東中学校の3校は合同で持久走大会を開催しています。この大会は、1km・1.5km・2km・3kmの4つのコース

に分かれており、児童・生徒は走りたい距離を選ぶことができるとり1制。3kmに挑戦する児童もおり、小学生と中学生が競争する姿も見られます。

地域一体となった取り組み
 学校と地域のふれあいを深めるため、大平小学校はふれあいスポーツ大会を行っています。児童とその家族のチームに、假野美利校長は「大平小学校は、地域とのつながりが強く、地域とともにある学校だと感じています。このような地域とのつながりをもっと強めていきたいですね」と話してくださいました。

地域とともに歩む学校を
 假野美利校長は「大平小学校は、地域とのつながりが強く、学校職員と地域住民が加わり、グラウンドゴルフなどで競い合います。なかには、道具を持参して参加する方もいるほどの熱のこもりようです。」